



～地域とともにある学校をめざして～

鯿コミ

R5 CS通信No.14 R5.12.14



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

地域の方が指導するクラブ活動(西海小)



西海小学校では、「地域の方が学校に関わり、特技を生かして指導するクラブ活動」を実施しています。指導しているのは、パソコンクラブの相馬祐輔氏、料理クラブの工藤道代氏、運動クラブの鎌田守氏、ミステリークラブの菊谷尚久氏、みんなの音楽クラブの齊藤愛子氏の5名です。

11月24日(金)、ミステリークラブでは、液体窒素で物を凍らせる実験をしていました。

液体窒素で凍ったバナナを金づち代わりにして、くぎを打ち付けることができました。

また、理科の実験では、ルールを守らないと失敗したり、ケガをしたりすることがあるので、ルールを守ることを強調して教えていました。

菊谷尚久氏は、自分の特技を生かして専門的な指導をするので、子どもたちが目を輝かせて、生き生きと実験していました。

音読発表会で郷土カルタを音読(舞戸小4年)



町では、ふるさと学習のカリキュラムとして、鯿ヶ沢郷土カルタの活用を推進しています。

12月8日(金)、舞戸小学校で、全校音読発表会があり、第4学年児童が、鯿ヶ沢郷土カルタを音読しました。

音読発表の最後に、

「郷土カルタで鯿ヶ沢のことをいろいろ学ぶことができました。」

「詠んでいるうちに知っている場所や知っている事が出てきました。」

「はじめはむずかしいと思いましたが、慣れてくると面白くなってきました。」

と、初めてカルタを音読した感想も発表しました。

鯿ヶ沢郷土カルタは、町の名所や歴史について学ぶことができ、小中一貫の取り組みとして、町内全小中学校で実施していく予定です。

大熱戦を呼び込むカルタの詠み手(西海小)



12月12日(火)、西海小学校で、全校カルタ大会がありました。

この日は、学校支援ボランティアの北嶋朝子さんと齊藤芳子さんが、学級代表対戦と全員対戦の詠み手をそれぞれ務めました。

二人は、大きな声で、言葉をはっきり、流暢に詠み進めていったので、大熱戦を呼び込んでいるようでした。

また、練習段階から学校を訪れ、本番と同じ状況で練習を重ねてきたため、子どもたちも詠み手に慣れ、札を取りやすそうでした。

二人に話を聞いたところ、

「詠み手は楽しかったです。鯿ヶ沢の歴史と一緒に学ぶことができました。また詠みたいです。」

と満足した顔で話していました。